

みわ 美和ダム

どっしりと構える重厚なダム

1959(昭和34)年に竣工。三峰川に建設された高さ69.1mの重力式コンクリートダム。洪水調節・灌漑・水力発電を目的とする、国直轄のわが国最初の多目的ダム(特定多目的ダム)である。中央構造線上に建設されている。近年、土砂堆積が進み堆砂率が悪化したため、上流から流れてくる土砂をダム湖に貯めず下流に流すバイパストンネルが建設された。



美和ダムと美和発電所



バイパストンネル放流の様子

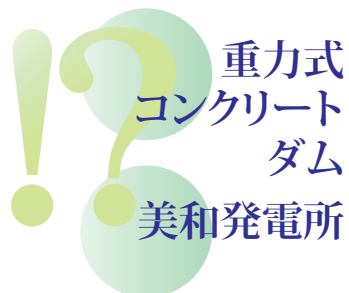
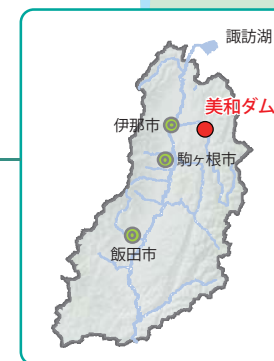
information

□ アクセス

伊那ICから20Km
車→30分

□ 所在地

伊那市高遠町



重力式
コンクリート
ダム

美和発電所

主にコンクリートを主材料として使用し、コンクリートの質量を利用してダムの自重で水圧に耐えるのが特徴である。ダムとしては最も頑丈な型式。地震・洪水に強く、地震や降水量の多い日本に最も適した型式でもある。

長野県営電気事業初の発電所として1958(昭和33)年から運転開始。美和ダム直下に位置する。同ダムから発電用水を取水し、最大出力12,200キロワットの発電を行った後、高遠湖に放流している。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)